

10年2月9日州警察ニュース

JSS 和訳

## 州警察は両親や保護者にネットに関してもっと知っておくように薦めている

### 2010年2月9日は安全ネットの日

州警察は、国際警察機構が国際的に進めている、若年者のネット、Eメール、携帯電話に対する脆弱性に関する関心を高める運動インターネット安全の日に参加している。

州警察は、両親や保護者そして若年者たちが、インターネット安全の日を機会としてネットは正しく活用しなければ、素晴らしい道具でなくなることを忘れないでほしい。州警察の児童性的搾取課捜査官 Scott Naylor は、「インターネットは子供たちにとって多くの有益な学習機会となる反面で、搾取の入り口にもなっている。両親や保護者は、子供たちを守るために、子供たちが日常使っているテクノロジーを知っておく必要がある。そういったテクノロジーに関する両親や保護者の知識は、残念ながら子供のそれに較べてはるかに遅れている。」と語っている。

子供たちを守るために両親や保護者が出来ることは;

- 子供たちが行っているオンラインでのネット操作に参加し、知ること。
- コンピュータは家の、誰もが見える場所におくこと
- 子供たちにパスワードを人に伝えないことを教え、友達と共通のパスワードを作らな

いように指導する

- 使っていないウェブカメラはコンピューターに接続しないこと、カメラを作動させる時には相手を確認すること
- 何をオンラインで投稿するかに十分気を配ること
- ネットを通じた友人について、普通の友人と同じように知っておくこと

州警察の防犯課は [www.opp.ca/ecms/index](http://www.opp.ca/ecms/index) に、両親や保護者ないしは子供たちのための、安全なネット利用に関する注意書きを数多く掲載している。

又、[www.twitter.com/OPP\\_News](http://www.twitter.com/OPP_News) で州警察からの情報を入手してほしい。

(以下略)

#### JSS 説明

記事にかいつまんで説明されているように、今日のコンピューターやインターネット、通信の世界では日ごとに新しい技術が開発され、つい数年前には考えられなかったことが次々に実現している。展開の速い技術革新に関する我々おとなの吸収力は、柔軟な頭脳を持ち、日ごろからそういった技術に接触機会の多い子供たちのそれに較べて、はるかに劣っていると言わざるを得ない。

インターネットを通じて子供たちが何を見聞きしているのか、何をしているか、正確に把握できている両親や保護者は決して多くはないことも実情であろう。

一方、各種のかどわかし、児童ポルノ、いじめなど子供たちを被害者とする事件は毎日のように起きている。そして、それらの事件でインターネットやなどの情報・通信技術が悪用されている例を見聞きすることは毎回である。

現代の子供たちは、情報の洪水にさらされて

いる。インターネット通じて子供たちは、どのような情報でも手に入れることが出来、さらに自分を偽った人物などとの交流も可能であることを考えると、日ごろから信頼をベースとする親子関係を築いておき、何かにつけてよき相談相手となっておくことが極めて重要と思われる。